

## Q&amp;A

## 繰り返す膵炎の1例

## 【問 題】

症例：37歳，男性。

主訴：腹痛。

現病歴：202X年6月，腹痛を主訴に前医を受診し，急性膵炎の診断にて入院加療となった。膵炎の原因はアルコール性と考えられたため禁飲食にて保存的加療を行い，腹痛は改善した。しかし，食事再開後より腹痛が再燃し，腹部造影CT検査を再検したところ膵腫大が増悪，膵炎の再燃を認めため，精査・加療目的にて当院紹介となった。

内服：カモスタットメシル酸塩 100mg 6T分3，ラベプラゾールナトリウム 10mg 1T分1，ロキソ

プロフェンナトリウム 60mg 3T分3，レバミピド 100mg 3T分3。

血液検査所見：WBC 5200/ $\mu$ l，RBC 443万/ $\mu$ l，Hb 12.9g/dl，PLT 18.1万/ $\mu$ l，AST 48U/L，ALT 77U/L，LDH 220U/L，ALP 232U/L， $\gamma$ GTP 220U/L，T-BIL 0.50mg/dl，アミラーゼ 337U/L，リパーゼ 717U/L，CRP 2.08mg/dl，IgG 721.0mg/dl，IgG4 15.2mg/dl，CA19-9 75.6U/ml，CEA 3.8ng/ml。

腹部造影CT (Figure 1) と ERC 画像 (Figure 2) を示す。

## 診断は何か？



Figure 1. 腹部造影CT：膵がびまん性に腫大し，膵内胆管の拡張を認めた。



Figure 2. ERC画像：遠位胆管に狭窄を認めた。